



宮城県水産林政部

# はじめに① 宮城県のプロフィール

・ 総面積 7,282.29平方キロメートル  
(国土地理院「令和4年全国都道府県市区町村別面積調」)

・ 総人口 226万8,355人  
(総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」に基づく人口 (R4.1.1現在))

・ 県内市町村 35市町村

・ 気温と降水量

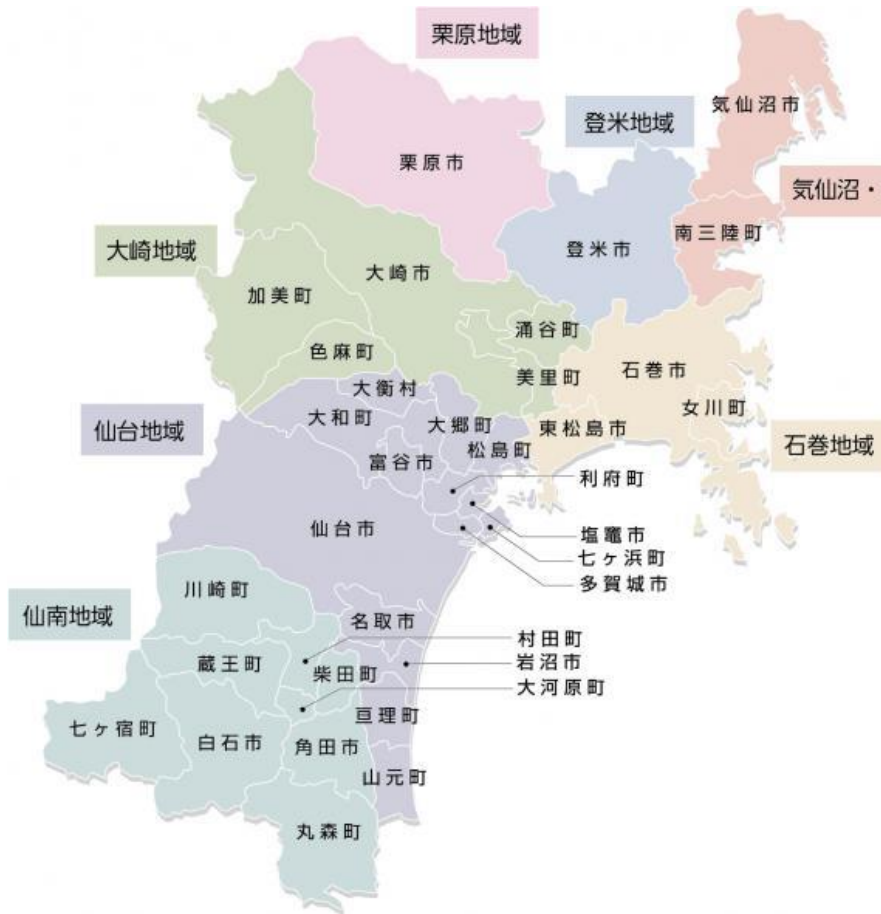
	春 (4~6月)	夏 (7~9月)	秋 (10~12月)	冬 (1~3月)
平均気温	16.2℃	24.1℃	10.5℃	3.3℃
降水量合計	361.0mm	614.5mm	135.5mm	113.5mm

(気象庁ホームページ (令和4年仙台市の数値))

・ 交通アクセス

仙台－東京間 新幹線で90分 (最速)  
仙台空港から国内9都市、

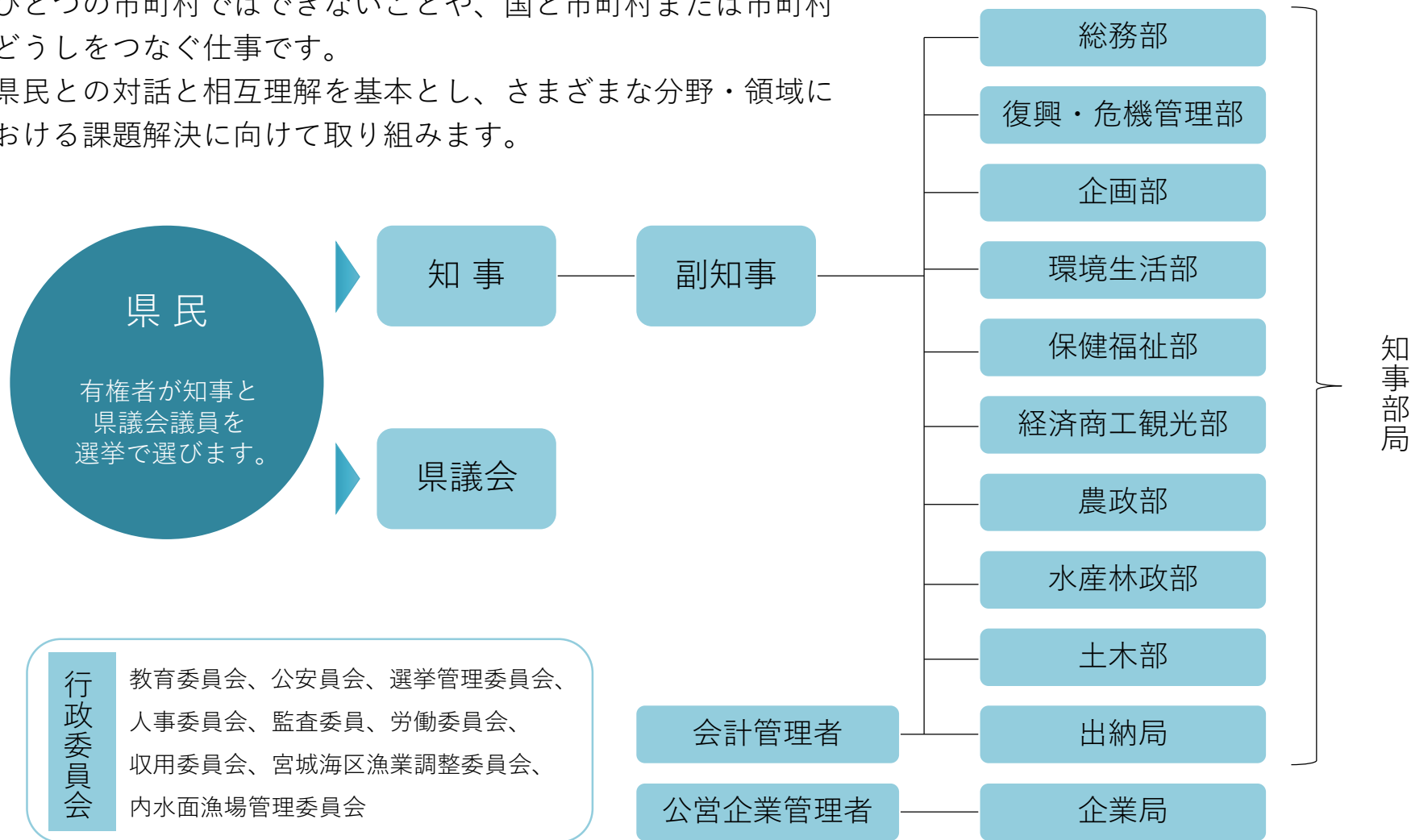
海外6都市の航空ネットワーク  
(R5.7月時点、運休中含む)



# はじめに② 宮城県の組織

## 県の仕事

- ・ひとつの市町村ではできないことや、国と市町村または市町村どうしをつなぐ仕事です。
- ・県民との対話と相互理解を基本とし、さまざまな分野・領域における課題解決に向けて取り組みます。



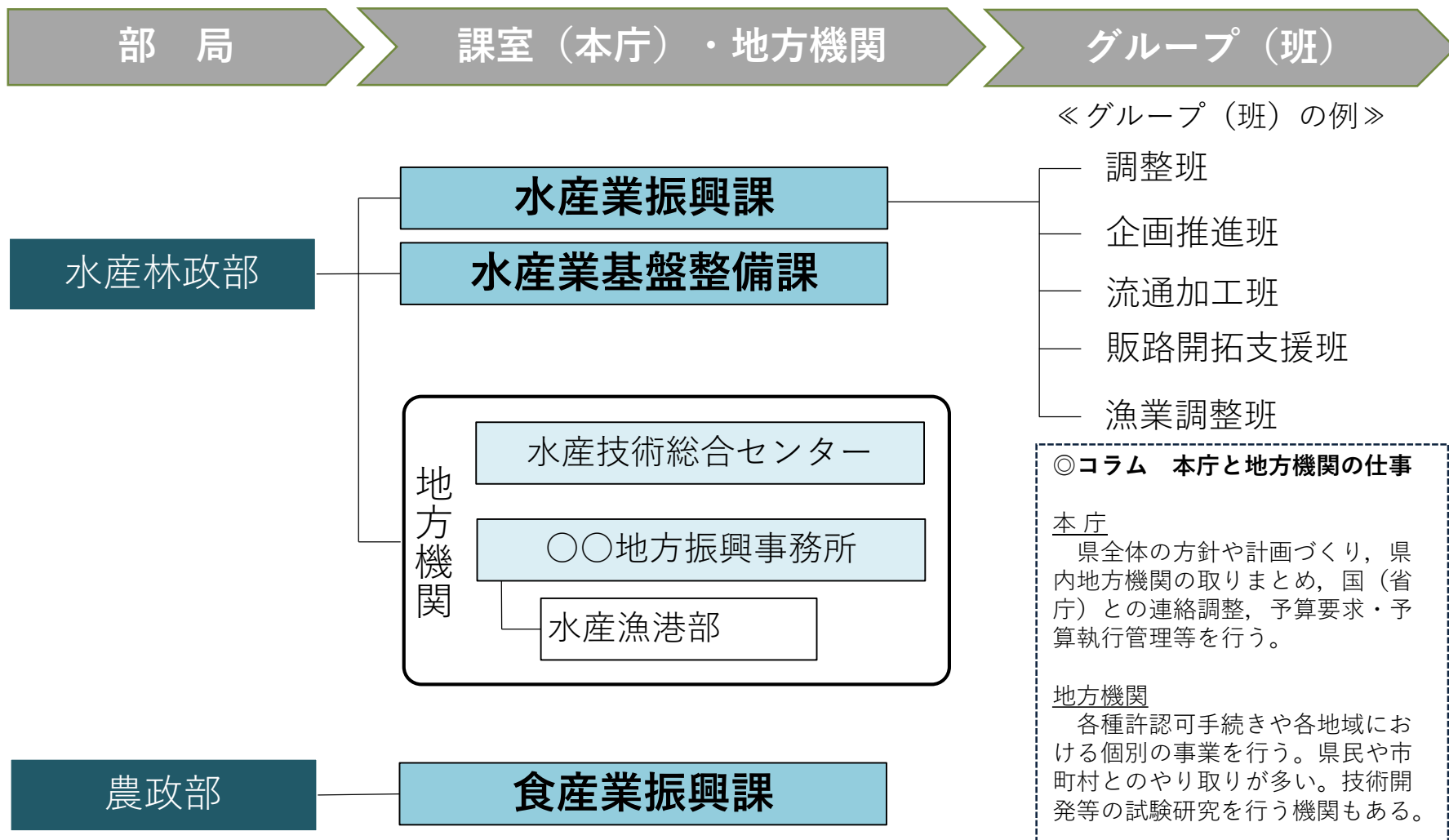
# 1 どこで仕事をするの？－ 配属先 －

主な配属先は、知事部局のうち水産林政部（水産業振興課・水産業基盤整備課・水産技術総合センター等）、農政部（食産業振興課等）となります。

知事部局	総務部	予算案の作成、財産の管理、広報・広聴 等
	復興・危機管理部	復興支援・伝承、消防・防災 等
	企画部	全庁的計画の立案、各種統計調査、情報化の推進 等
	環境生活部	地球温暖化対策、食の安全安心確保、消費生活の安定 等
	保健福祉部	地域医療体制の整備、高齢者の生活支援、子育て支援 等
	経済商工観光部	企業立地の推進、中小企業の経営支援、観光・国際交流 等
	農政部	<b>農業に関する技術指導、農地関係の調整、土地改良 等</b>
	水産林政部	<b>水産・林業に関する技術指導、生産基盤の整備 等</b>
	土木部	道路、河川、ダム、公園等の建設・管理 等
	出納局	資金の出納・管理運用、収入・支出の決算

# 1 どこで仕事をするの？ - 配属先 -

知事部局の各部局の中に、課室・地方機関があり、課室・地方機関の中に班等のグループがあります。入庁後は、いずれかの課室・地方機関の中にあるグループに所属し、担当の業務を遂行します。



# 1 どこで仕事をするの？ — 勤務地 —

県庁（仙台市）のほか、県内3つの圏域に地方振興事務所（水産漁港部）があります。また、水産の試験研究機関として、水産技術総合センター（石巻市・気仙沼市・大和町）があります。



※東部・気仙沼地方振興事務所は各圏域の合同庁舎の中にあります。

## 2 どんな仕事をするの？－ 業務内容 －

宮城県は全国屈指の水産県で、生産性の高い海域と漁港、魚市場など多くの水産インフラを有しています。

宮城県の水産職は、こうした環境の中、本県の水産業が豊かな自然環境と調和しながら、地域社会を支える活力ある産業としてより一層発展するよう、漁場環境対策や漁業後継者の確保・育成、水産資源の管理、養殖業や水産加工業の振興のほか、水産技術の開発や研究など多岐に渡る業務を担っています。

### 🐟 各部署の主な業務内容（水産職に関わる業務） 🐟

#### 水産業振興課

水産業技術の改良普及、水産業の後継者・担い手の育成、水産加工業の振興、水産物の販路拡大支援、沿岸漁業の調整・漁業許可管理など

#### 水産業基盤整備課

漁場環境対策、養殖業の振興対策、水産資源の増殖・管理、魚介藻類の防疫など

#### 地方振興事務所

所管地域における水産業技術の改良普及、後継者育成、漁業許可、漁船登録、水産物の販路拡大支援など

#### 水産技術総合センター

養殖業に係る技術指導・改良・開発、漁業資源調査、海洋観測、魚病等に係る調査研究、水産加工の試験研究、種苗の生産など

## 2 どんな仕事をするの？－ 実務の実例 －

### 漁業担い手確保対策 / 水産業振興課

#### ●みやぎ漁師カレッジ(漁業研修)の管理運営 (業務概要, ポイント)

漁業就業者数の減少や高齢化の進行を背景に県では、漁業就業者の確保・養成のため、2泊3日で漁業体験ができる短期研修と、4か月間で幅広い知識や資格を取得できる長期研修を開催しており、各研修の企画立案・関係者との調整などを行っています。



みやぎ漁師カレッジ  
長期研修(底曳網)



定置網の水揚げ体験



ワカメ養殖漁場の見学

(具体的な実務例)

#### みやぎ漁師カレッジ短期研修

短期研修では知識習得のための座学や、定置網、カキ養殖、ワカメ養殖などの漁業体験を2泊3日のコースで、年2回開催しています。

研修担当者は、数カ月前からカリキュラムの検討や、講師等との調整などを行います。

#### 年間スケジュール

- |     |                               |
|-----|-------------------------------|
| 4月  | 新規漁業就業者数の調査<br>長期研修(第1期)の準備作業 |
| 5月  | 長期研修(第1期)の準備作業                |
| 6月  | 長期研修第1期開講                     |
| 7月  | 研修現場への立会い                     |
| 8月  | 長期研修(第2期)の準備作業                |
| 9月  | 長期研修第1期閉講<br>第2期開講            |
| 10月 | 第1回短期研修                       |
| 11月 | 研修現場への立会い                     |
| 12月 | 長期研修第2期閉講                     |
| 1月  | 第2回短期研修                       |
| 2月  | 次年度の受講生募集用<br>ポスター作成          |
| 3月  | 研修結果の取りまとめ等                   |



## 2 どんな仕事をするの？－ 実務の実例 －

### 県産水産物・水産加工品の販路開拓支援 / 水産業振興課

年間スケジュール

(業務概要, ポイント)

県産水産物・水産加工品の県内外への販路開拓・消費拡大に向けた支援を行っています。

また、県産水産物等の魅力発信や、魚食普及活動などの各種取組も行っています。



水産の日まつり



県産ホヤフェア

(具体的な実務例①)

震災後、海外輸出量が激減した県産ホヤについて、国内での販路開拓及び消費拡大を図るため、県外量販店でフェアを実施しています。

(具体的な実務例②)

水産加工品の新商品開発や品質向上の促進と消費拡大を図ることを目的に、毎年、県水産加工品品評会を開催しています。



県水産加工品品評会

4月	補助事業の募集開始
5月	補助事業の審査等
6月	県産ホヤフェアの実施
7月	県産ホヤフェアの実施
8月	次年度事業の検討
9月	次年度事業の検討
10月	次年度予算要求作業
11月	品評会の出品募集開始
12月	品評会の準備
1月	水産加工品品評会開催
2月	水産の日まつりの準備
3月	水産の日まつり開催
	次年度事業の準備
	補助事業の実績確認
	次年度事業の準備

※ 上記のほか、年間を通して様々なPR活動、魚食普及活動を実施

## 2 どんな仕事をするの？－ 実務の実例 －

### 持続可能なみやぎの養殖振興事業 / 水産業基盤整備課

年間スケジュール

(業務概要、ポイント)

宮城県水産基本計画を達成するためのアクションプランとして「養殖振興プラン」を策定します。また、養殖物の高品質化や安定生産体制の構築、水産エコラベルの認証取得や輸出促進による収益性の向上、水産業のスマート化に向けた取組を実施しています。



みやぎサーモン (ギンザケ)

4月	養殖現場のヒアリング
5月	水産エコラベル認証審査
6月	試験研究の委託契約
7月	養殖振興プラン原案作成
8月	養殖振興プラン分科会
9月	養殖振興プラン策定会議
10月	高品質カキ生産試験
11月	川のスマート養殖業試験
12月	養殖振興プラン公表
1月	養殖物生育状況の整理
2月	輸出向け衛生証明発行
3月	事業成果の取りまとめ



カキの生産



現地打ち合わせ

(具体的な実務例)

「養殖振興プラン」の策定に向け、養殖現場のヒアリング等により、カキ、ワカメやギンザケなど、養殖種類毎の現状と課題を整理します。その後、生産量や生産額の目標値を達成するために必要な技術や支援等を検討しながら、プラン原案を作成し、分科会や策定会議などの専門会議に諮った上で、プランを策定し、公表します。

## 2 どんな仕事をするの？ - 実務の実例 -

### アワビ等栽培漁業の推進 / 水産業基盤整備課

(業務概要、ポイント)

漁業者の収入を支える重要な水産物であるアワビ資源の維持・増大のため、種苗(稚貝)を生産し、漁業者へ配布しています。

また、宮城県内ではアワビのほか、ヒラメ、ホシガレイ、アカガイ、ナマコなどの種苗生産・放流が実施されています。



アワビの親貝

(具体的な実務例)

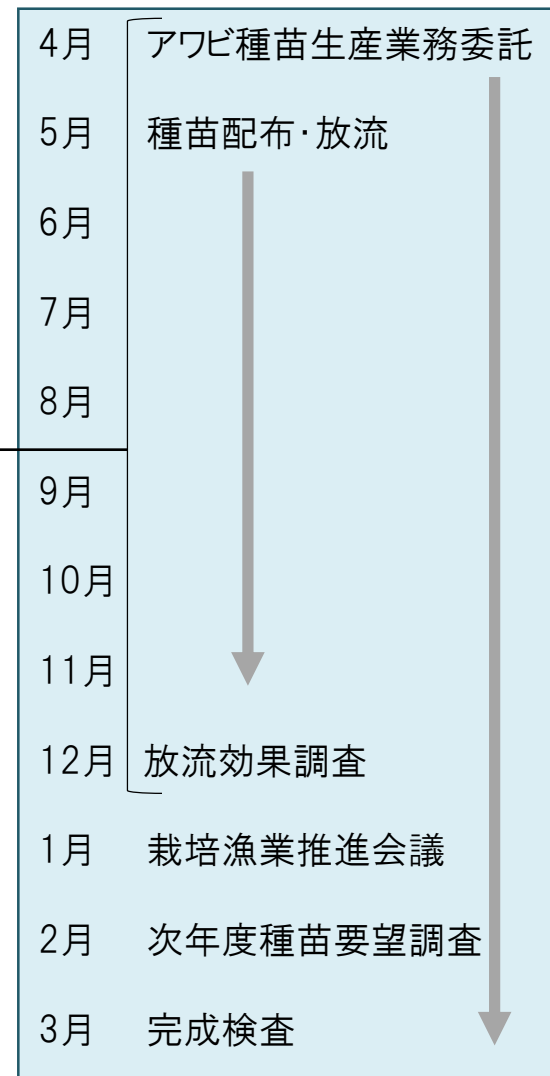
アワビの種苗生産は、本県栽培漁業の推進母体である「公益財団法人宮城県水産振興協会」に委託して実施しています。

生産した種苗は、県内の各漁場で漁業者により放流されます。また、放流したアワビがどれくらい漁獲されるかなどを把握する放流効果調査も試験研究機関等と連携して実施しています。



アワビ種苗と放流の状況

年間スケジュール



## 2 どんな仕事をするの？ - 実務の実例 -

### 水産資源の増加に向けた取組(水産業改良普及業務) / 東部地方振興事務所

年間スケジュール

(業務概要, ポイント)

漁業者が、海洋環境・水産資源の変化に対応できるよう、水産業普及指導員資格を有する職員が、漁業者へ新たな漁業・増養殖技術や水産物の付加価値向上方法などを指導します。



アラメ生育状況調査

#### (1) 藻場造成の取組支援

- 8月 漁業者と共に計画づくり
- 9月 アラメ(海藻)の採苗
- 10月 陸上管理(育苗)
- ～2月
- 3月 洋上管理(沖出し)
- (1年後) 天然海域に投入

#### (2) ナマコ種苗生産の取組支援

- 4月 漁業者と共に計画づくり
- ～5月
- 6月 人工授精、採卵
- 7月 幼生の屋内飼育
- ～8月
- 9月 稚ナマコの海中飼育
- ～2月
- 3月 計数、放流

(具体的な実務例) ←

ナマコ資源を増やすため、漁業者とともにナマコの人工種苗生産に取り組みます。6月上旬に産卵期を迎えたナマコから受精卵を回収し、ふ化した幼生を9月頃まで水槽で飼育します。稚ナマコを約2mmまで成長させた後、海中飼育を経て、地先の海へ放流します。



親ナマコの選別



稚ナマコの計測



稚ナマコ

## 2 どんな仕事をするの？－ 実務の実例 －

### 漁業調整業務 / 仙台地方振興事務所

(業務概要, ポイント)

本県水産業の健全な発展に向け、同じ魚を様々な漁法で漁獲する場合や多くの漁業者が漁場に集中する場合等のトラブル防止に向けた各種調整を行うとともに、ノリやカキ等の漁業権に基づく養殖業の推進のため、漁船登録や漁業許可、漁業権の免許に係る業務を行っています。



水揚げされたアカガイ



生長したワカメ

(具体的な実務例)

仙台地方振興事務所は、海面では東松島市から亘理郡山元町まで、内水面では鳴瀬川から阿武隈川流域までの漁業調整や振興を担当しています。

具体的には、漁業法や宮城県漁業調整規則等により、多くの漁業は操業する漁船隻数や漁具などの制限があり、許可制となっていることから、漁業許可証の発給等の手続き業務を行っています。



かたくちいわしの水揚げ

漁業許可等 年間スケジュール

- 5月 ・潜水器漁業許可証発給・交付
- 6月 ・かたくちいわし漁業許可証発給・交付  
・漁船検認開始
- 8月 ・小型機船底びき網漁業許可発給・交付
- 9月 ・さけ特別採捕許可証発給・交付  
・漁船検認終了
- 11月 ・なまこ桁網漁業許可証発給・交付
- 12月 ・固定式さし網漁業許可証発給・交付
- 1月 ・貝桁漁業許可証発給・交付

※ 漁業者や関係機関との打合せ(随時)

# 2 どんな仕事をするの？ - 実務の実例 -

## 水産加工品の販路開拓支援 / 気仙沼地方振興事務所

年間スケジュール

(業務概要、ポイント)

気仙沼地域の『銘品』(水産加工品)を多くの方々に知ってもらうため、地域の量販店や自治体と連携した販促活動や物産フェアの開催、広報誌の作成など、地域の水産物の消費拡大、販路拡大に向けた各種取組を行っています。

(物産フェアの企画・開催)

- 量販店、地元自治体と共催した水産加工品の販売促進会(物産フェア)を企画・開催
- 地域の水産加工品を県内外へ情報発信することにより、認知度の向上と販路回復・拡大へ貢献
- 当日は、水産加工品の販売に加え、「むすび丸」等による「じゃんけん大会」を始めとしたイベント等で盛り上げ



量販店での販売促進活動

4月	年間計画作成
5月	物産フェア企画・調整 補助事業の申請とりまとめ
6月	・毎月 水産漁港部だより作成 ・随時 直売会等の開催 量販店での販売促進活動
7月	
8月	
9月	
10月	物産フェア開催
11月	
12月	補助事業進捗状況確認
1月	
2月	県庁ロビー販売会
3月	補助事業の実績とりまとめ



物産フェア



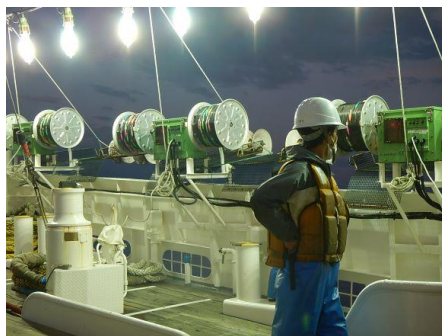
物産フェア(イベント)

## 2 どんな仕事をするの？ - 実務の実例 -

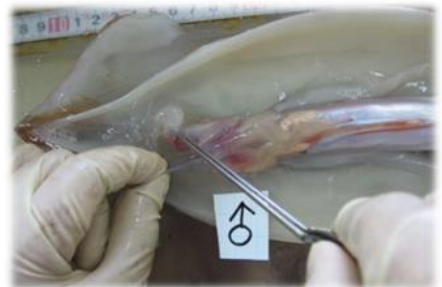
### 水産資源の調査研究 / 水産技術総合センター

#### ◆科学的基礎データの収集・解析

広域水産資源や沿岸・磯根資源等について科学的な調査・研究で得られた情報に基づき、資源動向の的確な把握・評価を行いTAC等の資源管理方策の作成に役立てています。



イカ漁場一斉調査



イカの精密測定



底曳網漁場調査

#### ◆スルメイカ漁場形成調査

他県の調査船と連携した漁獲調査を実施し、漁場への来遊時期や資源状況を調査しています。

毎年同じ時期に同じ漁場で実施することにより、経年の資源変動を把握でき資源評価の基礎データとして活用されます。

#### 年間スケジュール

- |     |             |
|-----|-------------|
| 4月  | 鯨類餌環境調査     |
| 5月  | マアナゴ稚仔調査    |
| 6月  | タラ類新規加入量調査  |
| 7月  | スルメイカ漁場形成調査 |
| 8月  | シラス曳き網調査    |
| 9月  | イカナゴ夏眠期調査   |
| 10月 | 沖合定線調査      |
| 11月 | ヒラメ新規加入量調査  |
| 12月 | 長期漁海況予報会議   |
| 1月  | イカナゴ仔魚調査    |
| 2月  | オキアミ漁場形成調査  |
| 3月  | コウナゴ漁期前調査   |

## 2 どんな仕事をするの？－ 実務の実例 －

### 養殖技術の改良と普及 / 水産技術総合センター

年間スケジュール

#### ◆養殖業の高度化のための調査研究

養殖生産の安定化、養殖生産物の安全性確保のために防疫体制の強化に取り組むとともに、高付加価値化のための養殖生産技術開発・研究を行います。

また、ICTやAI等の先端技術を活用して、生産現場のニーズに合った作業の省力化・省コスト化に向けた技術開発研究に取り組めます。



魚病検査

- 4月 高品質カキ生産調査
- 5月 ホタテガイ幼生調査
- 6月 ワカメ人工採苗指導
- 7月 種がき浮遊幼生調査
- 8月 ホヤ養殖指導
- 9月 ギンザケ魚病検査

10月 ノリ採苗指導

11月 ワカメ・ノリ養殖指導

12月 ワカメ・ノリ養殖指導

1月 ホヤ天然採苗指導

2月 ホヤ養殖指導

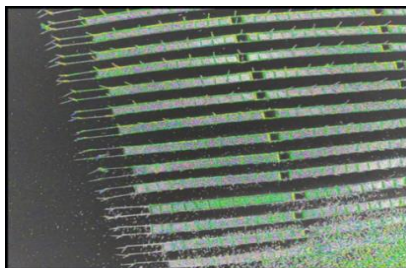
3月 アカモク採苗準備

#### ◆ドローンを活用した生育調査

これまでは、ノリ網の一部を持ち帰り顕微鏡で観察し、生育状況や疾病の状況を観察していましたが、ドローンとマルチスペクトルカメラを組み合わせた調査により、広範囲の漁場の生育状況を「数値化」及び「見える化」し迅速に漁業者へ情報提供することを目指しています。



空撮用ドローン



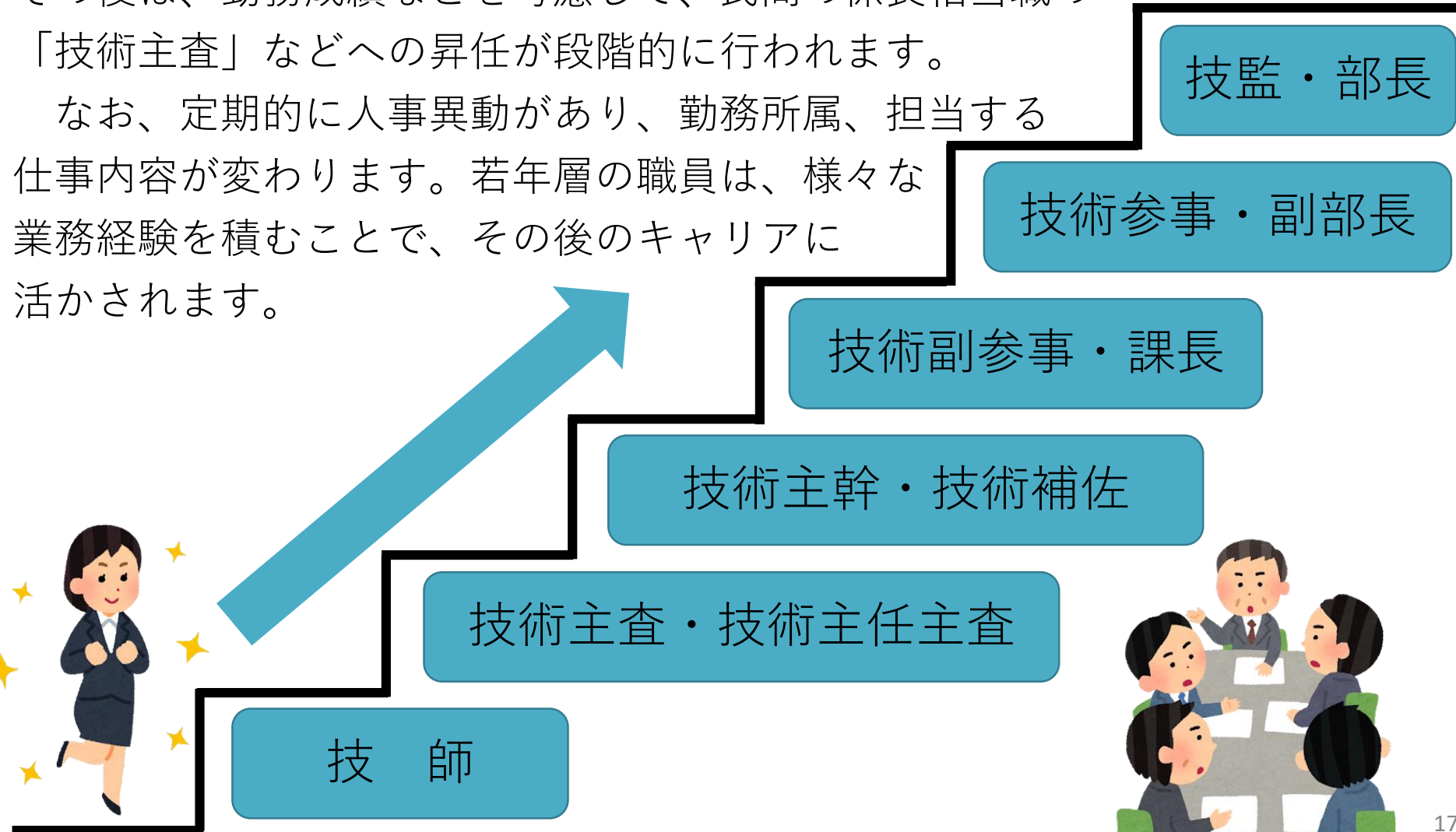
ドローンでのノリ網撮影画像



### 3 水産職のキャリアアップー 人事異動ー

採用後は、「技師」という職位からスタートします。その後は、勤務成績などを考慮して、民間の係長相当職の「技術主査」などへの昇任が段階的に行われます。

なお、定期的に人事異動があり、勤務所属、担当する仕事内容が変わります。若年層の職員は、様々な業務経験を積むことで、その後のキャリアに活かされます。



### 3 水産職のキャリアアップー 人事異動ー



**配属先はどうやって決まるの？**

本人の希望，人材育成の観点，各所属の事情などを考慮して決定されます。

人事異動により，定期的に勤務地や担当する仕事が変わります。



**人事異動のサイクルはどれくらい？**

平均として3年に1回，人事異動があります。

事務職員：バラエティに富む職務

技術職員：専門性を活かせる職務

# 3 水産職のキャリアアップー 主な研修 ー

## 公務研修所での研修

◎階層別研修：職位ごとに身につけておくべき能力を修得する研修  
新任職員研修 / 主事・技師研修 / 主査級研修 / 班長研修 など

◎選択制研修：職員の自律的な能力開発のための研修  
政策形成講座 / 説明力・プレゼンテーション講座 /  
折衝力・交渉力講座 / エクセル実務研修 ほか多数



## 水産職独自の研修

◎水産業普及指導員研修会  
水産業の現場から求められる専門的な知識・技術の習得

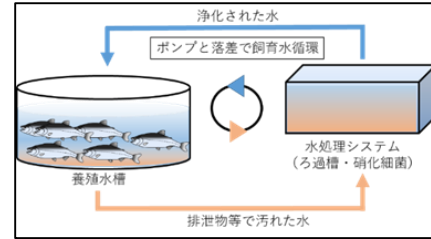
◎漁業経営指導員養成講座  
営漁指導を担当する専門職員の養成

# 4 宮城県の重点的な取組

## ◎陸上養殖の研究推進～閉鎖循環飼育システムを活用した養殖技術等の開発～

### 【目的】

新たな養殖業の形態として注目されている「閉鎖循環飼育システム」を用いた陸上養殖研究を推進します。



閉鎖循環飼育システムの概要



陸上養殖研究施設(内観イメージ)

### 【取組内容】

現在、水産技術総合センター内に「閉鎖循環式陸上養殖研究施設」を建設しており、令和6年度以降は閉鎖循環飼育システムのメリット(水温、塩分を人為的にコントロール可)を活かし、ギンザケ、イワナ等の周年飼育技術や種苗生産技術の開発を進めます。

## ◎漁船漁業復興完遂サポート事業

### 【目的】

近年、海洋環境の変化に伴い、サンマ、秋サケなどの歴史的な不漁が続いていることから、沿岸漁船漁業の漁獲量・漁獲高確保に向けた対策の検討や支援を行っています。



漁業者団体等との検討会



新たな対象魚種の資源調査

### 【取組内容】

漁業者団体、流通団体、試験研究機関等と連携し、海洋環境の変化に対応した、新たな操業体制への転換や対策の検討を行うとともに、試験操業や資源量調査の実施のほか、漁業者が行う転換に必要な技術の習得や漁具・設備等の導入を支援しています。

# 4 宮城県の重点的な取組

## ◎宮城ブルーカーボンプロジェクト

### 【目的】

海藻などにより吸収・固定される炭素である「ブルーカーボン」に関する取組により、藻場造成・海藻養殖の増産と温暖化対策を推進します。

### 【取組内容】

炭素吸収・固定量などを評価するための技術開発、カーボンクレジット制度の導入に向けた藻場造成・海藻養殖のモデル地区における実践、水族館と連携したイベント開催等による普及啓発・広報など、ブルーカーボンの社会実装に向けて取り組んでいます。



ホソメコブの海中移植



ドローンによる海藻養殖面積の測定

## ◎スマート水産業推進プロジェクト

### 【目的】

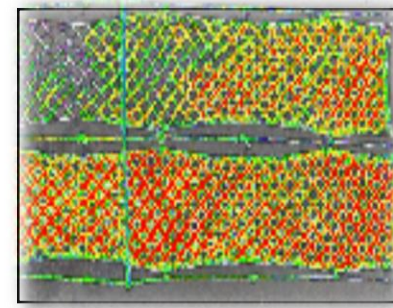
養殖生産システムにICTやAI等の先端技術を導入し、社会実装を念頭に有効性を検証することで、水産業のスマート化を推進します。

### 【取組内容】

自動観測ブイを活用することで、漁場における水温・塩分の海洋環境データがいち早く把握できるシステムを構築しています。また、ドローンによるノリ養殖業のスマート化として、空撮画像解析による病障害の判定などの技術開発にも取り組んでいます。



自動観測ブイの活用



ノリ養殖の画像解析例

# さいごに 宮城県職員（水産職）を目指す皆さんへ



宮城県は漁船漁業・養殖業ともに盛んで、水産職として働きがいのある職場です。宮城県の水産業振興のため、一緒に働くことを楽しみにしています。

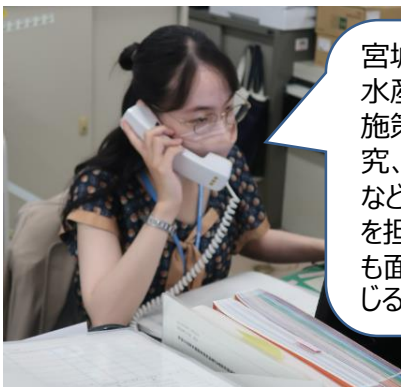


水産業もめまぐるしく環境が変化しており、皆さんが現在学んでいる新しい知識が現場に求められています。一緒に頑張ってみましょう。

民間からの転職でも、前職で身に付けた知識や技術は、きっと宮城県の水産業振興のために活かせるはずです。現場での様々な業務も新鮮です。ぜひ、一緒に頑張りましょう。



採用後、各分野に精通した先輩方から知識と技術を教えてもらうことができますので、専門的知識が少なくても心配ありません。ぜひ一緒に働きましょう。



宮城県は、全国有数の水産県であり、その中で施策の企画や試験研究、担い手活動の支援など、多岐に渡った業務を担当できることは、とても面白くてやりがいを感じると思います。

定期的な人事異動はありますが、異動を繰り返す中で様々な業務に携わることで、知識・経験や人脈を築いて自分を成長させていくことができます。



とてもやりがいがある業務を経験できます。難しいことがあっても、ベテランの先輩が優しくサポートしてくれます。宮城県の水産業を一緒に盛り上げて行きましょう。



採用で初めて宮城県に来ましたが、都市部のほか、海や山などの自然も豊富で、かなり暮らしやすいところだと思います。是非、宮城県職員となってお越しください。

